目 次

I. 総括研究報告

切れ目のないポリファーマシー対策を提供するための

薬剤師間の情報連携の推進に資する研究 ----- 1

溝神文博

(資料) 図1 電子お薬手帳アプリを用いた地域で活用できるポリファーマシー対策

図2 薬物療法情報提供書作成の進め方

図3 薬物療法情報提供書 作成例

図4 Claris FileMaker Go (日本語)を用いた薬物療法情報提供書

表1 薬物療法情報提供書

表2 薬物療法情報回答書

表3 患者背景および薬剤の使用状況

表4 自覚症状

別添1 薬物療法情報提供書

別添2 薬物療法情報提供書 (詳細版)

別添3 薬物療法情報提供書 回答書

別添4 薬物療法情報提供書作成ガイド

II. 分担研究報告

1. 薬物療法情報提供書とガイドブックの作成・周知に関する研究

(薬剤師間情報連携) ----- 91

亀井美和子

2. 薬局における地域医療情報連携ネットワークの利用状況に関する実態把握

(民間事業者 (電子薬歴等)) ----- 94

水野智博

(資料) 図1 各都道府県における回答件数

図2 各都道府県における地連ネットワーク導入率

図3 地連ネットワークを導入した理由

図4 地連ネットワークの連携対象職種

図5 地連ネットワークの連携対象者

図6 地域医療情報連携ネットワークの利用場面

図7 地連ネットワークを導入しない理由

3. 薬剤師間および多職種との情報連携に関する実態把握（薬剤師間情報連携）と それに基づいた情報共有ツールの作成 （薬剤師間情報連携）	----- 99
藤原久登	
（資料）5. 「薬剤師間の情報連携は薬物治療の向上につながると思いますか？」	
6. 「連携が必要だと思ふ理由」	
22. 「情報提供書の作成で、提供する情報が不足していると感じますか？」	
16. 「情報提供書作成に『時間的困難』を感じますか？」	
27. 「薬剤師間の情報交換のコミュニケーションツールに何を使用していますか？」	
29. 「多職種連携は薬物治療の向上につながると思いますか？」	
4. 薬剤師間および多職種との情報連携に関する実態把握 （多職種間情報連携、ポリファーマシー対策チーム）	----- 104
島崎良和	
（資料）図1 薬剤調整カンファレンス参加数（薬剤総合評価調整加算数別）	
5. 薬剤師間および多職種との情報連携に関する実態把握 （多職種間情報連携）	----- 110
小島太郎	
6. 看護師と薬剤師との情報連携に関する実態調査 （多職種間情報連携）	----- 114
竹屋 泰	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 116